

花巻市 博物館

目次／P 1 特別展「20世紀巨匠の版画達展 Sasa Adair コレクション」／P 2-3 テーマ展「屏風と襖展」／P 4-5 特別展「20世紀巨匠の版画達展 Sasa Adair コレクション」／P 6-7 令和4年度行事予定／P 8 新館長ごあいさつ・インフォメーション



facebook
公開中！

だより

2022.4
No. 66

令和4年度特別展

シャガール、ピカソ、ダリからロックウエルまで

「20世紀巨匠の版画達展」

Sasa Adair コレクション

花巻市博物館では、令和4年7月16日（土）から8月28日（日）の期間で、特別展「20世紀巨匠の版画達展 Sasa Adair コレクション」を開催します。

本展では、日本初公開の「Sasa Adair コレクション」から、世界の巨匠たちが取り組んだ“版画達”を紹介します。

アルフォンス・ミュシャ
「ラ・プリュム」
文学美術誌の表紙
1897年（リトグラフ）



令和4年度

テーマ展

屏風と襖

期間：令和4年5月21日（土）～6月26日（日）

調度品として使われていた屏風が、現在では日常生活の場からはほとんど消えています。本来屏風は、空間を仕切る・遮蔽・風除け・室内装飾のためのもので、壁やドアのある現代住宅には必要のないものになってしまいました。

調度品ということもありそのデザインは様々で、個性や流行が取り入れられたものが制作されました。また、儀礼的な場の荘厳に使われた屏風は、画題や画法にいろいろな制約があったと言われています。

今回、博物館で所蔵している屏風や襖から、花鳥や山水、人物が描かれた様々な作品を紹介します。

1 花鳥画

花鳥画とは花と鳥を描いた絵のことで、鳥のほか動物や蝶、こおろぎなどの昆虫が描き添えられたものも花鳥画に含まれています。季節ごとに咲く時期の異なる花に、鳥や昆虫を組み合わせることで多く、絵の手本には様々な花鳥画の作例が技法とともに掲載されています。花の中でも、蘭竹梅菊の4つが気品のある花として、君子にたとえられています。



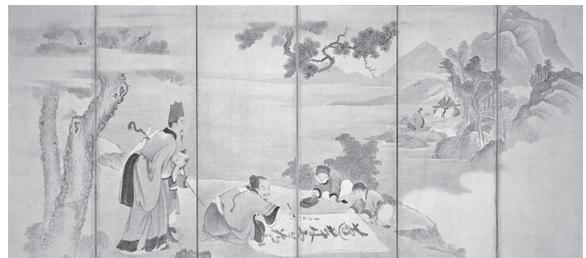
藤島静邨「菊図屏風」
六曲一隻

中国の画家たちの作品を手本としながら、画家自身が独自に捉えた花鳥の生態が再現されたものとなっています。

2 人物画

人物画とは歴史上の人物や仙人などを描いた絵のことで、逸話や伝説を画題とした作品が数多く描かれました。このほか、当人や家族などから依頼を受けて、実在した人物の肖像を描く場合もありました。

画家たちは画題に取り上げる人物の逸話や伝説を、師匠から学んだほか、先人の作品の模写や読書を通じて習得しました。人物描写の中で、とくに力点が置かれたのが顔の表情です。髪の毛や鼻、口元、まゆなど、いかにもその人物が生き生きとみえることが重要とされていました。



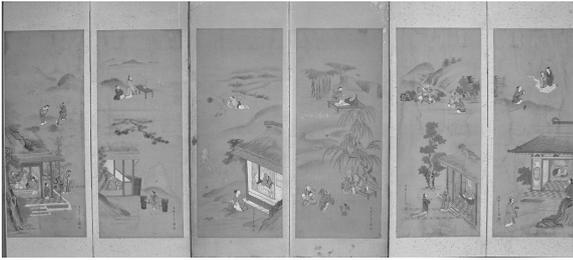
八重樫豊澤「琴棋書画図屏風」
六曲一双

「琴棋書画」とは、教養や風雅を身につけた文化人の風流な遊び、琴を弾く、碁を打つ、書を書く、絵を描くことを言います。昔、中国では四芸と称して、風流人の芸術的な遊びとされていました。画題としても多く用いられます。

八重樫豊澤(1763-1842)は、山水図、人物図、花鳥図など多くの作品を残していますが、中でも得意としたのは中国の仙人や七福神などの人物画でした。この作品は、自然に囲まれた広々とした湖の周りで、風流な遊びをしている様が、とても穏やかな雰囲気や解放感を醸しだしています。また、この雰囲気や柔らかい表情が印象的な人々から、心のゆとりが感じ取られ、そのゆとりを湖の広大さで表現しているようにも見えます。

とそれらをとりにく風景が共通して描かれています。それらは実在する風景ではなく、あくまで画家自身の視点で捉えられた山水が象徴的に表現されています。

下図は、八重樫豊川(1794-1837)の「山水図屏風」です。豊川は、豊澤の養子、堅治の雅号です。寺子屋の経営を任せられ引継ぎ、絵も描いていました。現存する作品は少なく、この屏風はとても貴重なものです。



湯川玉僊「二十四孝図屏風」
六曲一双

八重樫豊川「山水図屏風」
六曲一双

上図は、湯川玉僊(1812-没年不明)の「二十四孝図屏風」です。親や姑に孝行を尽くした、中国の人物たちの逸話を描いたものです。

屏風の圧倒的な存在感とそれに囲まれた空間をご堪能いただければ幸いです。ご来館をお持ちしております。

(学芸員 小原伸博)

3 山水画

山水画とは、山と川がある自然の風景を描いた絵のことです。中国では蓬莱山など、不老長寿の仙人が棲む仙山として、古くから描かれました。東晋時代(4世紀)以降、こうした仙山とは別に、自然の景観に触発された画家自身が、その胸中に思い描いた理想郷としての山水を描くことが主流になっていきました。日本でも中世以来、中国の作品や手本類が輸入され、それらを手本に山水画が描かれました。谷あいから流下する滝、眺望のきく水辺や高台

◆ 関連イベント ◆

- ギャラリートーク
- 日時 6月11日(土)
13:30~14:00
- 場所 花巻市博物館 企画展示室

※申込は不要ですが入館料が必要です。



トゥールーズ・ロートレック 「サーカス」 1952年（没後出版のリトグラフ）

令和4年度特別展

シャガール、ピカソ、ダリからロックウェルまで

「20世紀巨匠の版画達展」Sasa Adair コレクション

令和4年7月16日（土）～8月28日（日）（期間中無休）

商業美術としての版画は、情報伝達の手段であると同時に人々が芸術に親しむ機会を広げた大衆芸術です。日本では、既に江戸時代の浮世絵が庶民に親しまれ、大衆芸術として大いに発展しました。



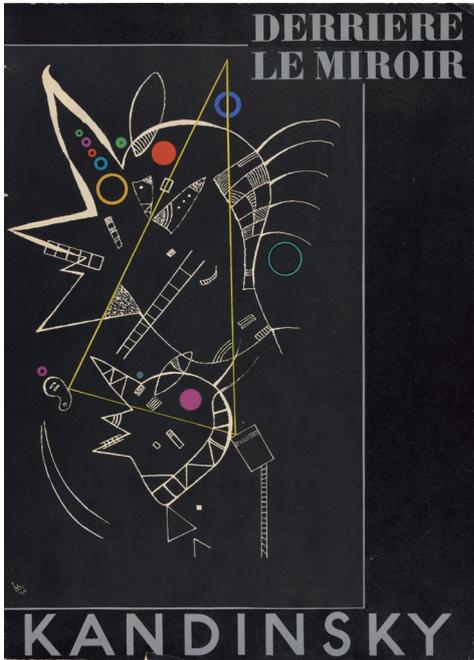
ピエール・ボナール
文芸誌「ラ・ルヴュ・ブランシュ」の広告ポスター
1894年（リトグラフ）



モーリス・ド・ヴラマンク 「ウイスキーボトル」
1958年（リトグラフ）

アメリカ在住の笹氏は身近な芸術として“版画”をアメリカの画廊や絵画市で収集してきました。「誰にでも、いつも愛された版画は、或る意味で、最も

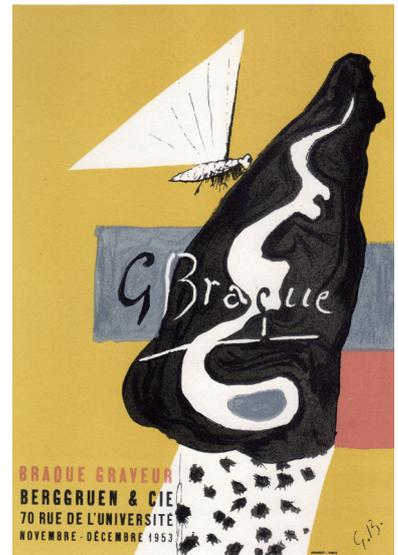
“アートらしいアート”の様な気がします」と語られるコレクションは、笹氏と版画収集を温かく見守ってくれた奥様の家系名とをひとつにして「Sasa Adair コレクション」と名付けられ、本展で日本初公開となります。



ワシリー・カンディンスキー
美術誌「デリエール・ル・ミロワール」の表紙
1957年（リトグラフ）

マティス、ブラックからビュッフェの時代まで、彼らが信頼を寄せたパリの版画工房や出版社の協力で制作したりトグラフから、アメリカンイラストレーションの黄金時代を築いたパリッシュ、古き良きアメリカを象徴するロックウェルによる雑誌の表紙絵や生活画まで約130点を展覧いたします。

ヨーロッパとアメリカの“版画達”を集めて帰国した「Sasa Adair コレクション」。誰もが一度は聞いたこと、見たことがある20世紀巨匠たちによる版画の世界です。



ジョルジュ・ブラック
「ブラック版画作品展」の
ポスター
1953年（リトグラフ）

《 関連事業 》

○特別記念講演会

演題：「20世紀巨匠画家たちと版画表現へのこだわり」

講師：向山富士雄氏（南アルプス市立美術館 館長）

日時：令和4年7月30日（土）13：30～15：00

場所：花巻市博物館講座体験学習室

定員：30名（要申込）

※聴講は無料ですが、事前申込みが必要です。

※参加申込みは、開催日の1か月前より電話もしくは窓口にて受け付けます。

※講演会に参加された方は、無料で展示室をご見学いただけます。

令和4年度 展示案内

テーマ展「博物館のひなまつり～花巻人形展～」

期間：開催中～5月8日(日)

色彩豊かな花巻人形をメインとした、花巻市博物館ならではの雛壇を展示するとともに、当地方の郷土人形である花巻人形の魅力に迫ります。

ミニ展示「花博コレクション～特別篇～」

期間：開催中～5月8日(日)

当館学芸員が厳選した資料や作品を紹介し、博物館のコレクションを堪能していただく展示です。

テーマ展「屏風と襖」

期間：5月21日(土)～6月26日(日)

博物館が所蔵している屏風や襖から、花鳥や山水、人物が描かれた様々な作品を紹介します。



橋本雪蕉 山水図屏風

★関連事業

- ・6月11日(土) ギャラリートーク

特別展「20世紀巨匠の版画達展」

期間：7月16日(土)～8月28日(日)

シャガールやミロなど20世紀の巨匠たちによる、リトグラフやポスター、情報誌の表紙絵として制作された版画(印刷物、出版物を含めて)の世界を紹介します。



★関連事業

- ・7月30日(土)
記念講演会

トゥールーズ・ロートレック
「サーカス」
1952年(没後出版のリトグラフ)

テーマ展「花巻のやきもの - 縄文から現代 -」

期間：9月17日(土)～11月20日(日)

約15,000年前に日本で誕生して以来、私たちの暮らしに欠くことのできないものとなったやきもの。

花巻ゆかりの縄文土器から近代の陶磁器までを紹介し、花巻のやきもの文化をたどります。



花巻焼
染付竹虎文手焙

★関連事業

- ・9月24日(土) ミニチュア土器作り
- ・10月8日(土) 鍛冶丁焼作り
- ・10月22日(土) 台焼作り
- ・9月23日(金・祝)、11月3日(木・祝)
ギャラリートーク

共同企画展 ぐるっと花巻・再発見! 「山の暮らし」

期間：12月10日(土)～翌1月29日(日)

花巻は奥羽山脈と北上高地に挟まれた土地であり、山を生業の場とし、山と共に暮らしてきた人々がいました。

山を生業の場とした名もなき先人に焦点を当て、花巻での山の暮らしに迫ります。



狩猟呪文巻物(個人蔵)

★関連事業

- ・12月17日(土)、1月21日(土)
ギャラリートーク

テーマ展「花巻人形」

期間：2月18日(土)～5月7日(日)

館が誇る570種3,500点以上にも及ぶ花巻人形。素朴でありながらも、優雅さを併せ持つ花巻人形の奥深い魅力を紹介します。



花巻人形 和藤内

★関連事業

- ・3月26日(日) 花巻人形絵付け体験等

※内容に変更がある場合があります。あらかじめご了承ください。

⊕ 令和4年度 **講座・ワークショップメニュー** ⊕

博物館では、花巻の歴史や文化をより詳しく、そして楽しく学んでもらうために、講座やワークショップを行っています。令和4年度も様々なメニューを用意しましたので、ぜひご参加ください。

○ **講座**

◎館長講座

- 第1回 6月25日(土)
- 第2回 10月15日(土)
- 第3回 2月25日(土)

★聴講無料、要申込
★詳しい内容はHPでお知らせします。

◎学芸員講座

- 第1回 6月18日(土)
- 第2回 11月19日(土)
- 第3回 3月11日(土)

★聴講無料、要申込
★詳しい内容はHPでお知らせします。

○ **ワークショップ**

○勾玉づくり

日にち：①5月3日(火・祝)
②8月6日(土)
内 容：滑石を削って、磨いて、古代のアクセサリー「勾玉」をつくります。
材料費：340円
定 員：15名



○琥珀玉づくり

日にち：5月4日(水・祝)
内 容：琥珀を削って、磨いて、古代のアクセサリー「琥珀玉」をつくります。
材料費：810円
定 員：15名



○縄文弓矢・火起こし体験

日にち：5月5日(木・祝)
内 容：弓矢を使った的当てと、木を使った火起こしに挑戦します。
参加費：無料
定 員：15名



○花巻人形絵付け体験

日にち：①7月31日(日)
②3月26日(日)
内 容：平賀工芸社の平賀恵美子さんを講師に迎え、花巻人形の絵付けを体験します。
参加費：1,600円～
定 員：15名



※講座・ワークショップの場所は博物館講座体験学習室、時間は13時30分～15時までを予定しています。

※お申し込みは開催日の1ヶ月前からです。

※講座・ワークショップともに内容に変更がある場合があります。あらかじめご了承ください。



ご挨拶

中村良幸

令和4年4月より、高橋信雄前館長から館長職を引き継ぎました中村良幸です。専門は考古学ですが、最近は民俗や民俗芸能にも興味を持って取り組んでいます。

当館の初代館長である梅原廉先生には、私が旧大迫町教育委員会勤務時代に大迫高等学校の校長として赴任されて以来、先生の調査に同行して仏像や絵画等の調査方法についてご指導いただきました。そして、学生時代に始めて参加した遺跡の発掘調査現場を担当されていたのが高橋信雄前館長であり、その時に発掘調査の基礎を教わりました。まさか、お二人の後を継いで当館の館長になるとは思っていませんでしたが、精一杯務めて参りたいと思います。

さて、当館は平成16年4月24日に花巻市の歴史・文化を展示・収集・保管し、その価値や魅力を市内外に発信することを目的に、県内市町村では最大級の博物館として開館しました。その後、一市三町が合併して新花巻市が誕生し、合併時に当館の分館となった歴史民俗系及び自然史系の3館は、老朽

化や施設再編により閉館や休館となっています。そのため、收藏されていた多くの資料の適正な保管や展示・公開が求められており、こうした問題にも真摯に取り組んでいかなければなりません。当館は、まもなく開館20周年を迎えますので、常設展示のリニューアル等を含めた協議・検討も必要になると考えております。

また、今年度からは当館内に市史編さん室が設置されることが決まりました。花巻地方の歴史・文化を知る上での基礎資料となる市史刊行は、多くの方々に待ち望まれていました。これに対しましては、博物館活動の基本である調査・研究や資料収集能力を活かしながら、円滑に進むよう努めたいと思いますので、皆様の一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの終息が見通せない状況ではありますが、当館におきましては感染防止対策を徹底し、今年度も様々な企画展や講座、体験学習などをご用意して、皆様のご来館を心よりお待ちしております。

花巻市博物館

〒025-0014 岩手県花巻市高松 26-8-1
電話：0198-32-1030 FAX: 0198-32-1050
開館時間：午前8時30分から午後4時30分まで
休館日：12月28日から1月1日まで

入館料	小学生・中学生	150(100)円
	高校生・学生	250(200)円
	一般	350(300)円

※()内は20名以上の団体割引料金です。
※割安な近隣4館共通券もあります。
※特別展示を行う場合、別に入館料を定める場合があります。

交通案内

- 東北新幹線
新花巻駅より車で3分
- 東北本線
花巻駅より車で約15分
- 釜石自動車道
花巻空港ICより車で約5分
- バス
新花巻駅より約5分
岩手県交通 土沢線
イトーヨーカドー行
賢治記念館口下車



URL:<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/1008981/index.html>